

SHOW HEYシネマルーム

★★★

バレット モンク

配給/東芝エンタテインメント

2003 (平成15) 年11月14日観賞

<東宝試写室>

Data

監督: ポール・ハンター

製作: ジョン・ウー

出演: テレンス・チャン、チャールズ・ローヴェン/チョウ・ユンファ/ショーン・ウィリアム・スコット/ジェイミー・キング/カレル・ローデン/ヴィクトリア・スマーフィット

👁️👁️ みどころ

ハリウッドに進出して大成功をおさめている香港俳優のチョウ・ユンファと香港の監督ジョン・ウーが『男たちの挽歌』(86年)以来の久しぶりのコンビ。「指輪」ならぬ「巻物」を守る使命を与えられた弾丸坊主のチベット僧は、不老不死の肉体を授かっているが、これを狙う悪人が……。香港映画そのもののハリウッド活劇を楽しもう……。

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

<バレット モンクとは>

原題のBULLET PROOF MONK (バレット プルーフ モンク) とは直訳すれば、「弾丸にも耐える坊主」ということ。主人公の坊主は、素手で弾丸に立ち向かうことができ、悟りの力で宙を舞うことができる不死身の男らしい。邦題タイトルの『バレットモンク』は、その「弾丸」と「坊主」だけを残したものだが、それでもこの映画の狙いは十分伝わるだろう。

<キーワードはチベットの巻物>

近々完結編を迎える『ロード・オブ・ザ・リング』3部作のキーワードは「指輪」だが、この映画のキーワードは巻物。これは世界を楽園へも、逆に滅亡へも導く究極のパワーを秘めた巻物だが、人間はこれを容易に使いこなせないため、これを守っていかねなければならないというストーリーだ。そしてこの巻物を守るものは「三つの預言」を体現した者だけで、60年に1度選ばれる。そして巻物の守護神として選ばれた者は、不老不死の肉体を授かることになる。

<主演はチョウ・ユンファ>

きびしい訓練を終えて、今日この巻物の守護神に選ばれたのは、名前を捨てたチベット僧のバレット モンク (チョウ・ユンファ) だ。チョウ・ユンファは、香港映画『男たちの挽歌』(86年)の大ヒットを経てハリウッドに進出し、『アンナと王様』(99年)でジョディ・フォスターと共演し、『グリーン・デスティニー』(00年)で大成功した俳優。このチョウ・ユンファがタイトル通り、「バレット モンク」として縦横無尽の大活躍を繰り広げる、香港風ハリウッド痛快活劇がこの作品だ。

<製作はジョン・ウー>

この映画を、チャールズ・ローヴェンやテレンス・チャンらと共に製作したのはジョン・ウー。チョウ・ユンファを『男たちの挽歌』で(86年)で世に出し、自らも大ブレイクした後、ハリウッドに進出して『フェイス/オフ』(97年)、『M: i - 2』(00年)、『ウインドトーカーズ』(02年)等を次々とヒットさせ、今やハリウッドの大監督となったのがジョン・ウー。同じ香港出身の俳優チョウ・ユンファと監督ジョン・ウーがコンビを組むのは十数年ぶりだが、共に「ハリウッドの成功者」としてコンビを組むのは格別の味だろう。そして監督は何と22歳の映画クリエイターのポール・ハンターだ。

<バレット モンクを支える若者2人>

この映画は、「巻物」を狙うナチスの残党の悪者、ストラッカー (カレル・ローデン) から巻物を守る大活劇だが、そこに「守護神」の世代交代のストーリーが加わっている。そしてバレット モンクが次期後継者と直感した若者がカー (ショーン・ウィリアム・スコット)。仕事はスリだが、心はやさしく、東洋武術の達人。そしてもう一人、謎の美女のバッドガールことジェイド (ジェイミー・キング) もいる。この二人の若者は、さまざまないきさつの中、ストラッカーやその孫娘のニーナ (ヴィクトリア・スマーフिट) から、バレット モンクと巻物を守っていくことになる。

<ややこしい話は一切不要>

以上の大まかなストーリーさえわかれば、あとはハリウッド映画ながら、香港映画そのもののカンフーアクションを楽しめばいい。チベット僧とナチスの軍服を着た悪役との闘いや、ニューヨークの今風の若者のカンフー使いには多少違和感があるものの、そんなややこしいことを言うてはダメ。またこの映画では男同士の対決がメインだから、『キル・ビル』におけるブライドとオーレン・イシイとの女同士の対決ほどのウエイトはないものの、バッドガールことジェイドとニーナとの女同士のカンフー対決もあり、面白い。

いろいろとサービスされる活劇メニューを目いっぱい楽しもう。

2003 (平成15) 年11月15日記